



尼崎市立武庫中学校

学校だより

平成26年3月号

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

<http://www.ama-net.ed.jp/school/J16/index>

## 1日1日を大切に、みんな仲良く心温まる日々を過ごしましょ

校長 高橋 利浩

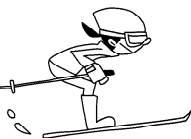
### 生徒の皆さんへ 2月24日(月)朝礼にて

3年生は、私学入試や公立高校の推薦入試・特色入試等の合格発表が終わりました。すでに、進路がきまった人は、おめでとうございます。3月12日(水)の公立高校一般入試に向けて頑張っている人は、最後まで全力を尽くして下さい。

そして、卒業式まで、あと6日になりました。二度ともどらない中学校生活を最後まで大切に、みんな仲良く、心温まる日々を過ごして下さい！

1、2年生は、あと1か月で今年度が終わります。1月に立てた目標は順調に行っていますか？もう一度点検してみてください！進級までに、自分が何をしなければいけないかを考えて下さい。

話は変わりますが、ソチオリンピックの中で私が1番印象に残った 葛西紀明選手 の話をします。今回、スキージャンプ 個人ラージヒル「銀メダル」、団体「銅メダル」をとりました。現在41歳。19歳アルペールビルオリンピックから7回目の出場になります。レジェンド(伝説)と呼ばれているが、今まで怪我や悲劇が重なっていました。長野オリンピック(16年前、1998年)では、日本は団体「金メダル」をとったが、団体は、葛西選手は、けがで出られなかった。そして、この長野オリンピックの前年に母親が火事でなくなった。母親が、入院中に葛西選手にあてた手紙に、愛する子供のために、息子の力になりたく、ほとんど動かない手で懸命に書いた手紙の中身が、「お前は絶対(五輪)にできる子だから。頑張って」という手紙でした。この言葉を信じて、頑張り続けて16年がたちました。そして、今回のソ



チオリンピックで見事、個人、団体でメダルをとりました。

この葛西選手が頑張った理由は2つあります。

**絶対に負けたくない気持ち**      **応援してくれる人に感謝の気持ち**

この理由で頑張ってきたと言っていました。そして、どんな時でも、みんなに笑顔を与えようと言いつけていました。

このことをみんなの人生に置き換えて見ると、これからどんな試練が待っていようとも、この2つの気持ちを忘れずに、頑張り続けたら、必ずいい結果につながります。葛西選手は、まだ、引退せず、「次のオリンピックで金メダルを目指します」と言っていました。君たちもそれぞれのオリンピックの「金メダル」を目指してがんばりましょう！

### 3年生中学校生活最後の球技大会 2月28日(金)

男女とも2種目のクラス対抗戦を行いました。男子は、ドッチボールとバスケットボール、女子はバレーボールとサッカーでした。みんな、中学校生活最後の球技大会を思いっきり楽しんでいました。

#### 優勝クラス

男子3年2組、女子3年3組



### 朝のあいさつ運動

風紀委員会主催 2月7日(金)～2月27日(木)



20日間にわたり、クラスごとのあいさつ運動を行いました。日頃は、生徒会と職員と保護者であいさつ運動を行っていましたが、今回は、風紀委員会主催で、クラスごとで全員校門に立つ運動を行いました。たくさんの生徒が校門で大きな声であいさつしている姿は、気持ちがいいです。今後も続けて行きましょう。